

RS232C I/F付き メインユニット

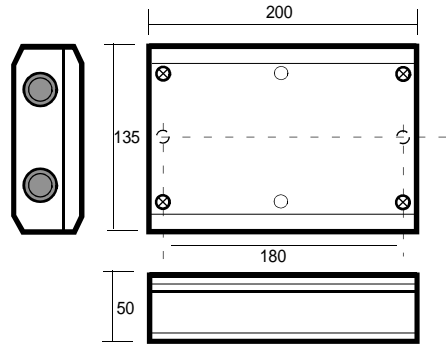
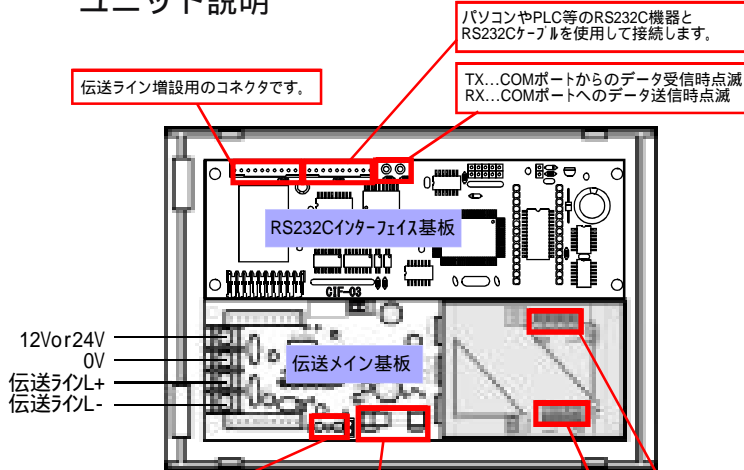
PUC01- 1 tkSK-002
Ver-3.8

1 A-アスキー通信用(弊社MGM16等で使用)、B-バイナリ通信用PLC等で使用)の2種類があります。

特徴

- ・ユニバーサルライン上のON/OFF信号をRS232Cに変換するユニットです。
- ・パソコン、PLCのRS232Cポートを使用して最大1024点のI/Oの監視、制御が可能になります。

ユニット説明



- OK...正常動作時点滅
- DT...データ入力時点滅
- データ入力が多いほど明るく点滅
- 伝送ラインショート時にヒューズが切れます。切れた時は交換してください。(ミレット 0.5A)

ジャンパにより伝送メイン基板のモードの切替えができます

メインモード (伝送親局) サブモード (伝送子局)

メインモード 伝送ロック出力あり。システムラインに必ず1台必要です。2台目以降は全てサブモードとして使用します。

サブモード 伝送ロックなし。多点I/Oの伝送I/Fとして使用する場合に設定します。

メインモードに設定した伝送主基板を同一伝送ライン上に2台以上接続すると伝送ロックが当たって故障の原因となります。

増設基板用入出力アドレス設定

ON 1 入力設定SW
設定方法 増設した入力基板の先頭のアドレス-1に合わせる (SW1~8の2進数合計を参照)

ON 8 出力設定SW
設定方法 増設した出力基板の最後のアドレスに合わせる (SW1~8の2進数合計を参照)

伝送メイン基板の放熱フィン下にあるディップSWで設定します。それぞれのSWに下記の2進数が割付けてあります。

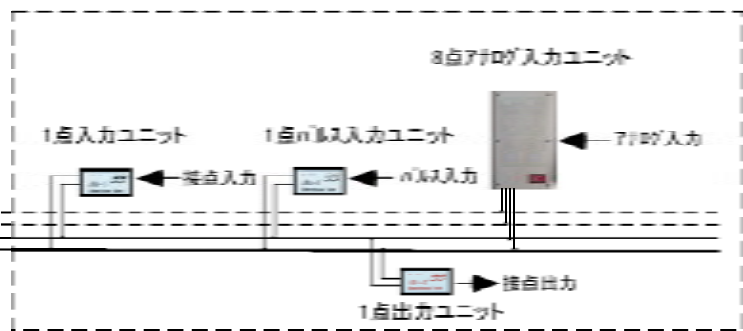
SWNo	2進数
1	1
2	2
3	4
4	8
5	16
6	32
7	64
8	128

アドレス設定表を参照してください。

接続方法



アドレス 時分割多重伝送の時間的な位置の事で、その位置に接点信号のON/OFF状態が入ります。通常このアドレスは256ありこのアドレス = 接点信号のI/O番号となります。



仕様

電源電圧	DC12V専用もしくはDC24V専用	2
消費電流	500mA (突入電流1A)	
クロック周波数	約512Hz	
クロック数	256 (128・64)	
ボーレート	9600BPS N81	
質量	約460g	

配線方法・分岐は自由です。極性のみお気をつけください。

2 24V用は末尾に-2が付きます。